

見た人が元気になってくれる作品を！



陽だまり隊

あさの **浅野** みか **壬袈** さん

「『浅野さんの作品を観てると元気がでるのよ』って声をかけてもらったとき、書いて良かったと思います」と話す浅野さん。

みの~れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.128

立春を過ぎてもまだまだ寒い日が続いていますが、日差しが柔らかくなってきました。妖精がひと足早く春を届けてくれて、梅の花や福寿草、クロッカスなどを咲かせてくれたとか・こんな話を聞いて暖かな春が待ち遠しくなりました。今回はホワイエの展示企画陽だまり隊のメンバーで文字アートのプロとして活躍中の小美玉市下玉里地区にお住いの浅野壬袈（みか）さん取材します。

自分ができていることを一生懸命やっていたら

みの~れの館内に入り、左手奥を見上げると大きくて真っ白な布に『楽』『風』（らふ）と書かれた浅野さんの文字アート（文字をモチーフにして絵を書くイメージ）が展示されています。一昨年、陽だまり横丁で作品展を開催した時の大作で、訪れたお客様の目を楽しませてくれました。浅野さんは、「娘が楽団四季ジョリー・フォレスト・ジャズ・オーケストラでお世話になっていて、送迎をしていた時に椅子に座って、の~れに通ってくる人を見ていると時間も人も風も・人の気が心地よく回り流れていて笑い声が絶えない。そういうイメージで描いた作品です。私の作品ってこの場所がなかったら書けなかった。『浅野さんの作品を観ると元気がでるのよ』って声をかけてもらうことがあります。誰かが喜んでくれたり、元気がなくなったりして、ああ・書いて良かったなと思います」と笑顔で話してく

れました。

浅野さんは、「3歳くらいから20歳くらいまで書道を習っていました。体調を崩したのをきっかけに子育ての合間を見ながら作品を創っているうちに文字を書いていたら生まれてきたもので独学です。自分が出来ることを一生懸命やっていたら周りの人たちがお膳立てをしてくれてプロとして活動することになりました。『作家として生きるなら個展をやりなさい』と言われて、初めての個展を2007年にやりました。私は、毎年個展を開くのではなく、タ

い。背中を押してもらった人たちに恩返しをするためには、人を感動させた元気になるってもらうことですね。一つでもその方たちの心に引かかってくれたら嬉しいなと思います」と浅野さん。

イミングが合った時にやっています。もうそろそろ個展をやってくださいと知人に言われて2016年10月にみの~れでやらせてもらったんですよね。もともとジャズが好きなので、音楽をモチーフにした作品や商品を展開するようになりました。楽団四季のロゴも私の作品です。」

「昨年の4月に陽だまり隊のメンバーになりました。空間デザインは自分なりに意見したり、お手伝い出来るんじゃないかと思っています。私にとつてみの~れは、たくさん感動をくれた場所だから、これから恩返しをしていけたらいいな。ここで出会えた人と一緒にコラボして作品を作ったりして・こんなにみなさんに喜んでもらえるとは思っていませんでしたので嬉しいですね。人の目線に立って自分が学んできたことを惜しみなく出せたらいいですね」と話してくれた浅野さんの笑顔が素敵でした。

また、「周りの人が居なかったら、自分一人の力ではここまで来れなかったと思う。私一人だったら自己満足で終わってしまったかもしれない

皆さんもぜひ、『楽』『風』を感じにみの~れに遊びに来てください。